

トピックス

第二回土木工事写真コンテスト審査結果発表

応募総数79作品の中から、土木写真家／西山芳一氏を招いて一次審査・二次審査を行い、その結果以下の通り入賞作品が決定しました。おめでとうございます。

- ◆最優秀賞 『YK42・43工区上部・橋脚工事』 梅林栄治 様 (三菱重工鉄構エンジニアリング株式会社)
- ◆優秀賞 『東京オリンピックへ続く橋と新旧鋼構造物のコラボ』 山本一昭様 (株式会社IHIインフラシステム)
『見上げる作業』 三宅憲二 様 (宮津市水道管理)
『今日もシバれるね〜〜!』 石原新吾 様 (大江建設株式会社)
『ランサー棒による切断』 平田 学 様 (岩田地崎建設株式会社)
- ◆入選 『早朝の毛嵐に浮かぶ要塞』 西迫明範 様 (東亜建設工業株式会社)
『絶好の現場日和』 山川宗雄 様 (沖縄ピーシー株式会社)
『もうすぐ完成だ!』 末岐 名 様 (株式会社安部日鋼工業)
『南国の島での大プロジェクト』 清水一雄 様 (大日本土木株式会社)
『ほのぼのカッパ工事隊員』 松ノ木 薫 様 (株式会社小友建設)
『出てきました。』 常泉 洋 様 (斉藤建設工業株式会社)
『高所恐怖症』 兼光喜一郎 様 (株式会社昭建)

受賞作品については今後JCMマンスリーレポートで紹介いたします。
(全応募作品はJCMホームページに掲載、写真をクリックすると拡大表示されます。)

講評 審査を終えて

土木写真家 西山芳一

応募いただいた写真を見ると規模的には大架設工事から細かな作業まで、工種的には橋梁、ダム、トンネル、港湾その他もろもろ、そして撮影した地域としては山林から都市土木、海外まで多種多様の作品が集まり、土木写真を撮る立場としても興味深く審査させていただきました。バラエティ豊かになり質的にも向上した二回目の土木工事写真コンテストだと思います。

応募なさる方々に関してですが、基本的に今回までは現場関係の皆様が大多数と思われます。しかし、次回からは出来れば一般の方々が現場外から撮影した工事写真や現場を見学された時に撮られた写真の応募も期待したいですね。近年、工事現場の近所にお住まいの方々を招待しての見

学会はどこでも開催していることと思いますが、その地域の写真クラブの方々を招待して生の工事現場を見て撮っていただき、地域での写真展開催はもとより、このコンテストに応募していただくということも考えてはいかがでしょうか？

土木の専門家と一般の方々の工事現場の見方、撮り方はきっと違うはずですが、当コンテストの質の向上は言わずもがな、何よりも一般の方々が土木工事現場をどう見ているのかがわかるチャンスでもあり、写真が媒介する地域との大事なコミュニケーション手段にもなるはずですが、工事現場を見て撮っていただくというちょっとした関係者の努力が土木工事の理解とPR、そして現場の安全につながるのです。